

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	37135
事業名	さっぽろ天神山アートスタジオ運営管理費					
評価担当課	所 属	市)文化部 文化振興課			電話番号	011-211-2261
施策名	将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外					
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託			○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	さっぽろ天神山アートスタジオは、札幌国際芸術祭2014の開催を契機に、旧天神山国際ハウス(平成20年閉鎖)を改修し、市内を始め国内外のアーティストが札幌に滞在しながら創作活動を行う「AIR」型のスタジオと、市民とアーティストが交流することができる機能を併せ持つ施設として、平成26年5月31日にオープンした。 天神山アートスタジオは、文化芸術を行う者に対して、美術、音楽、工芸、演劇、舞踏その他の文化芸術に関する創造活動の場を提供するとともに、当該文化芸術活動を行う者と市民との交流を促進し、市民の創造性を高め、本市における文化芸術の発展を図ることを目的として管理運営している。
	事業内容(何を実施し)	①創造活動の場の提供 滞在スタジオ(アーティスト・イン・レジデンス型のスタジオ)を貸し出し、国内外のアーティストの滞在制作、アーティストと市民が交流を図る機会を提供する。(令和5年度実績:85.7%) ②滞在アーティストと市民との交流 滞在アーティストが市民と交流する機会を促進する。(令和5年度実績:約11,000人) ③AIR拠点としての事業 令和5年度は、地域との交流事業として「天神山文化祭」「日曜日のスタジオ」、子ども向けプログラムとして「フォークダンス・アワー」、国際招へいプログラムとして「周活プロジェクト」を実施した。 ・天神山文化祭:地域住民と一緒に文化祭を開催(来場者数737人) ・日曜日のスタジオ:日曜日の天神山アートスタジオを舞台にワークショップを開催(計10回。参加者数合計181人) ・フォークダンス・アワー:演劇とダンスの専門家をファシリテーターに迎え、1泊2日＋1日の合宿型のワークショップを実施(参加者数26人) ・周活プロジェクト:ミュンヘンで活躍しているアート集団「トライブグット」を招へいし、彼らがミュンヘンで取り組んでいるアート素材のリサイクル活動を札幌において実施した。活動期間中にトークイベント、交流会、ワークショップなども実施(参加者数合計172人)
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	アーティスト滞在型のスタジオを有する施設特性を活かし、アーティストの滞在制作を支援するとともに、アーティストと市民との交流を促進し、文化芸術の振興を図る。
	他都市の状況	青森県「青森公立大学国際芸術センター青森」、山口県「秋吉台国際芸術村」など
	市民参加の実施	■ 企画 □ 実施 □ 評価 □ 対象外

令和4年度決算額	44,250 千円	うち特定財源	4,185 千円	正規職員業務量	0.4 人工
令和5年度予算額	42,497 千円	うち特定財源	4,030 千円	正規職員業務量	0.4 人工
令和5年度決算額	44,301 千円	うち特定財源	5,613 千円	正規職員業務量	0.4 人工
令和6年度予算額	47,386 千円	うち特定財源	3,994 千円	正規職員業務量	0.6 人工

指標	アウトプット活動指標1	AIR拠点としての事業プログラム				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		3	3	4	3		
	↓						
	アウトカム成果指標1	AIR拠点としての事業プログラム参加者数(延べ)				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		1,792人	1,800人	1,116人	1,200人		
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	令和5年度の天神山文化祭は小規模での開催となったことから参加者数は減少したものの、日曜日のスタジオというワークショップ(新規)を計10回開催し、多くの市民と交流することができた。					
	アウトプット活動指標2	滞在スタジオ利用率				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		59.70%	70%	85.70%	80%		
	↓						
	アウトカム成果指標2	滞在アーティストと市民の交流参加者数(延べ)				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
				11,014人	11,000人		
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	滞在スタジオの利用率は85.7%と過去最高を記録した。利用率に伴う成果指標がなかったため、今年度から滞在アーティストが市民と交流した推定参加者数を記載することにした。					

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	・市民がメリットを享受するため、滞在アーティストと市民が必ず交流を行うよう管理規則を改定する予定。 ・施設の在り方を含めた見直しを引き続き検討する。